

常に多數あれとも此に應せんとするものなし、強て其相場を問へは極軟鋼質のもの十二磅十志を唱ふ、尤も數量は極めて少けれども米國産鋼片沖着十一磅十志乃志十一磅十五志にて約定せんとする者もありたり、薄板用鋼片在荷拂底にして製鐵業者は各需要者を満足せしむることを得ず、名目相場十三磅乃至十三磅十志なり。

鐵材製品 此れ亦政府御用品の製造にて多忙を極め、鐵商の註文は全く引受くるものなし、兵器廠は製鐵所に對し英國及聯合軍用鋼材の製作に全部の餘力を傾注せんことを嚴命したる爲め、普通鋼材輸出商内は殆んど不可能となれり。

特製鋼 本年初頭と同一標準の相場を保持し、市場には其後特記すべき値段現はれたるものなし、フェロ、シリコンは品薄なるもタンゲステンは一月及二月中に多額の引渡を見たり、英國に於ては目下六志三片なるに、北米合衆國には三十七志に騰貴せりと云ふ。

武力板 鋼材供給困難を加ふると目下の勞働及酸類問題ある爲め、市況奔騰し、値段は日々昇進せり、初め二十六志九片にて引合成立し益買進み、二十七志より二十七志六片に至るも先高の見込を以て買止ます、遂には二十九志にて買入をなさんとする者現はる、而も此の相場は政府か武力板を凡ての鋼材と同様の取扱を爲すに至るまでは其頂上に達したるものと稱することを得ざるへし。

亞鉛引鋼板 永らく市況緊縮し居りたるも、大工場に應ずるもの生したる故市場引緩みたり、尙三十磅を唱ふるものあるも、リバープールF、O、b波板束物二十四番二十七磅にて多少商内あり、然れとも一般需要者は此の値段にて未だ買氣を生せざるか如し。

●獨逸情報

銑鐵 獨逸鐵鋼協會の報告によれば、昨年一月八七四、一三三噸、同年十二月一、〇二九、一四四噸なりしに、本年一月には一、〇七七、〇四六噸の産出あり、其内譯左の如し(括弧内は昨年十二月中の産額とす)

鑄物	銑	一六四、四〇一噸 (一六四、三七二噸)
ベセマ	銑	一六、三七五噸 (一九、九九七噸)
トーマス	銑	六八二、五七六噸 (六四二、二三三噸)
製鋼用及スピゲル	銑	一九一、三五四噸 (一八三、六八一噸)
鍛鍊用	銑	二一、八四〇噸 (一八、八六一噸)

棒鐵 棒鐵輸出組合は再び輸出値段を一噸十馬克の値上を實行し、工場渡二百二十馬克となれり。

白物 鉛及亞鉛引鐵板と武力板の値段昂騰し、現物の取引希望頻々たるも、在荷皆無の姿にして、新規寸法書によるものは數ヶ月後引渡のものにあらされは製造困難なり。

薄板 普魯西政府薄板輸出條例發布の結果、今後註文せらるゝものと既に契約を履行するものとを問はず、爲替は平和克復當時買入國の相場に依る條件付にて、一噸三百克以下にては引合成立せざるへし。